

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成23年9月27日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0892500075		
法人名	株式会社 ライフケアサービス		
事業所名	グループホーム 喜楽	ユニット名	
所在地	〒311-4615 茨城県常陸大宮市下伊勢畑948-8		
自己評価作成日	平成23年2月15日	評価結果 市町村受理日	平成23年9月16日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成23年4月28日	評価確定日	平成23年9月1日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<ul style="list-style-type: none">・少人数（1ユニット）の施設として、入居者様一人ひとりに優しく語りかけ笑顔ですごせる様に、職員一同、そっと手を添えるやさしい介護を心掛けております。・静かな環境で、ゆっくりゆっくりと、楽しい時間をすごしていただいております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>事業所は自然に囲まれた静かな住宅地に立地し、自治会に加入して地域の清掃活動に参加するとともに、利用者は地域の七夕祭りや花火大会などの行事を楽しんでいる。</p> <p>ボランティアとの交流が盛んであり、近隣住民とは散歩時に挨拶を交わしたり季節の花や野菜の差し入れがあるなど、利用者は地域とつながりながら日常的に交流している。</p> <p>職員は利用者一人ひとりと密に接し、和やかで落ち着いた生活ができるように支援をしている。</p> <p>天気の良い日には利用者の希望や体調に合わせてコースを選び、事業所周辺を散歩したり、休日には車で買い物のほか、年間計画を立てて花見や紅葉狩り、果物狩り、海の散歩、焼き物見学等、遠方まで出かけるなど外出の機会を多く設けている。</p> <p>職員は介護職務経験者が多く、利用者寄り添いながら利用者の意向にそった支援ができるよう工夫をしている。</p>

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	壁に理念が貼り出されており、いつでも読めるようになっている。	「残存能力を活用、活性化させ生活が自立するよう援助する。地域との交流を大切に、利用者様の充実した生活をお手伝いする。笑顔と信頼感を大事にする。」との理念を全職員で話し合い作成するとともに、毎日唱和し共有しながら実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の花見や祭り、或いは清掃活動に参加している。入居者様と共に地域のスーパーを利用している。地域の保育園児がボランティアに来てくれる。	事業所は自治会に加入して地域の清掃活動に参加するとともに、利用者は地域の七夕祭りや花火大会などの行事を楽しんでいる。 ボランティアが3ヶ月毎に来訪しているほか、そばやうどん打ち、敬老の日のボランティアを受け入れ、利用者の楽しみとなっている。 近隣の保育園児がプレゼントを持って来訪している。 近隣住民とは散歩時に挨拶を交わしたり、季節の花や野菜の差し入れがあるなど、日常的に交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域の高齢者等の暮らしに役立つ取り組みはしていない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営会議を開催し、入居者の家族、近隣の方から意見や要望を頂き、日常の活動や行事を行う上での参考にしていく為、職員全体に回覧し、認識を同じにする。	管理者は地域住民を含めて広く運営推進会議への参加を呼びかけるとともに、運営推進会議要綱を作成し会議への理解が得られるよう努めているが、2ヶ月に1回開催するまでには至っていない。	運営推進会議の理解が得られるよう委員に働きかけるとともに、会議開催の年間計画を立てたり家族会や事業所の行事などと合わせて開催するなど、委員が参加し易い環境を整えながら2ヶ月に1回開催できるように取り組むことを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護認定の更新手続きや詳細報告等で情報を提供している。	管理者は日頃から事業所の運営上の手続きや利用者への支援のあり方等を市担当者に相談するなど連絡を密にしている。 市担当者が時折事業所を来訪するなど、相互に協力関係を築くように取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束とは、どういうものなのかを理解し、一人一人の入居者様の行動を十分理解したうえでケアを行っている。	職員は身体拘束の内容とその弊害を認識し身体拘束をしないケアに努めているが、マニュアルを作成するまでには至っていない。 管理者は身体拘束をしないケアを職員で話し合う機会を設けるまでには至っていない。 利用者の安全のため、やむを得ず限られた時間帯だけ玄関を施錠するとともに家族等には口頭で説明しているが、書面で同意を得るまでには至っていない。	マニュアルを作成するとともに、全職員が身体拘束の内容とその弊害を正しく理解できるよう、研修会などの機会を設けることを期待する。 玄関の施錠は家族等に説明し、書面で同意を得ることを期待する。 利用者の安全を確保しつつ見守りを徹底するなどの工夫をし、鍵をかけずに自由な暮らしができるよう検討することを期待する。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員同士で虐待行為が行われていないか、日々確認し合っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	対応が必要な時に支援できる体制が万全とは言えない。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分な説明を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	自分の思いや意見を上手く表すことが困難な方であっても態度や言葉からその思いを察する努力をし、入居者様本意の運営を行っている。	重要事項説明書に事業所と第三者機関の苦情相談受付窓口を明記している。 玄関に意見箱を設置するとともに、家族等が面会や医療機関へ受診の付き添いのため来訪した時に話を聴くよう努めているが、アンケートを実施するまでには至っていない。	利用者や家族等に無記名のアンケートを実施し、出た意見等を運営に反映させるよう取り組むことを期待する。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日頃からコミュニケーションをとるよう心掛け、職員の意見や要望を聞くようにしている。	管理者は月1回定例のミーティングを開催し、職員の意見や提案を聞く機会を設けている。 管理者は日頃から職員とコミュニケーションを図り意見や提案を気軽に出せるような雰囲気づくりに努めるとともに、年2回無記名のアンケートを実施し、職員の意見等を汲みあげ運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	意見を聞き、向上心を持って働けるよう、整備に努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	学習会や研修会になるべく多くの職員が参加、受講できるような勤務調整をして積極的参加している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	研修会に参加し、質の向上に励んでいる。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	面談時に本人の要望や困っていることを聞き入れ、本人の気持ちを受け止めるようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	これまでの経緯、思いや不安を聞き入れて、理解するように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	改善に向けて必要なサービスに取り組むようにしている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の先輩であるという考えを皆で共有して日常の中で教えていただく場面が多い。又、そういう場面を多くする工夫や声かけに配慮している。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入居者様の様子、職員の思いを伝え、本人を支える為に家族と同じような思いで支援していることを伝えている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	以前から通っている病院へ行っている。	顔見知りになった隣接する通所介護事業所の利用者が立ち寄るほか、利用者の親類や知人、民生委員が来訪している。 職員は利用者が家族等の協力を得てお盆や彼岸に墓参りに出かけたり、年末年始に外泊ができるように支援をしているほか、知人や友人に手作りの年賀状が出せるよう支援をし、関係が途切れないように努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	自由に過ごし自然と入居者様同士が一緒になり、お茶を飲んだりお話をされている。何かあるとき以外はあえて、職員が間に入ったりせず、見守りをしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他施設へ移られる方にも本人や家族からの相談に応じ対応している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	話し方や顔の表情、仕草等で意志を推測し確認している。	職員は利用者にさりげなく話しかけ思いや意向の把握に努めるとともに、思いを表わせない利用者には話し方や表情、しぐさなどから汲み取るように努めている。 利用者の書いた塗り絵の色使いによって心情を推し測り対応するなど、利用者の心に寄りそった支援ができるように努めている。			
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所時に本人や家族と面談し今までにどのような生活をしてきたのかを聞き、これまで送られてきた暮らしの把握に努めている。	/		/	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活リズムを理解して、生活、心境面で出来ることに注目し、その人全体の把握に努めている。				
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日頃の関わりの中で、入居者様の思いや意見を聞き、反映させるようにしている。又、職員全体で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。	介護計画は利用者や家族等の意向や課題を把握し、全職員で話し合いその人らしく暮らせるように作成するとともに、家族等の来訪時に説明して確認を得ている。 職員は日々の記録から情報を共有するとともにモニタリングを行い、現状に即した介護計画になるよう定期的に見直している。			

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別に日々の暮らしの様子や本人の言葉等、記録し、全ての職員が把握している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の状況に応じて、通院などの支援を行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	安心して地域で暮らしを続けられるよう、町内の民生委員、駐在、消防機関と連携を取り支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的には家族対応の受診となっているが、不可能な時は職員が代行するようにしている。	利用者や家族等が希望するかかりつけ医への受診を支援している。 家族等が付き添い受診する場合は利用者の状態を伝え、適切な医療が受けられるように支援をするとともに受診結果を聞いている。 職員が付き添った場合は受診結果を家族等に報告している。 職員は受診結果を記録するとともに共有している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	状態に変化があった場合はかかりつけ医に連絡し、適切な対応を仰げるようにしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は本人に関する情報を医療機関に提供し、スムーズな退院が出来るよう努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	話し合い中。	契約時に利用者や家族等に重度化や終末期に向けた事業所の対応指針を口頭で説明しているが、明文化するまでには至っていない。	重度化した場合や終末期に向けて事業所の対応指針を作成し、利用者や家族等の同意を得るとともに、早い段階から利用者や家族等と話し合い、事業所でできることとできないことを説明しながら方針を共有し支援に取り組むことが望まれる。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時のマニュアルを作成、設置し、職員に把握してもらっている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	マニュアルを作成、避難訓練を行っている。	年間計画を立て夜間想定を含めた避難訓練を毎月実施している。 防災体制表を作成したり避難訓練の結果を記録し、反省点等を話し合っ改善に努めているが、避難訓練に近隣住民の参加を得るまでには至っていない。 災害に備えて食糧品や飲料水などを備蓄している。	災害時に近隣住民の協力が得られるように、運営推進会議等で避難訓練への参加を働きかけることを期待する。
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉かけに気をつけている。	職員は利用者一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応に努めている。 個人情報に関する書類は事務室の書棚に保管するなど取り扱いには十分注意をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人に決定をゆだね、意思表示が十分に出来ない方でも表情や動きなどから希望を把握するようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	時間に区切った過ごし方をするのではなく、本人の状況、思いに応えられるように、その人その人のペースに合わせて対応している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の好きな洋服を選んでもらっている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	買い物、調理、盛りつけ、片付けなど、負担にならないよう配慮し、行っている。	職員は利用者と一緒に会話をしながら楽しく食事ができるように支援をしている。利用者は職員と一緒に調理の下ごしらえや下膳、食器洗いなど能力に応じてしている。献立に季節の食材を取り入れるほか刺身の日を設けたり、花見などの行事に稲荷寿司や海苔巻を作るなど食事の変化に富み楽しみなものとなるように工夫をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の摂取量、一日の水分量を毎日記録し職員間で情報を共有している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の歯磨き、入れ歯の手入れの声かけを行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	日常の様子を観察し、声かけを行っている。	職員は排泄チェック表を活用し、利用者一人ひとりの排泄パターンを把握するとともに時間を見計らって誘導したり、利用者の様子から声かけすることで、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援に努めている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄記録表に記録、便秘を改善する為、水分補給を促したりして、自然排便を行えるように取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	希望や状況をその都度確認して行っている。	職員は利用者一人ひとりの体調や希望に合わせて入浴ができるように支援をしている。入浴を拒む利用者にはタイミングを見計らいながら声かけの工夫をしたり、シャワー浴や清拭などで無理のないように対応をしている。利用者は歌を口ずさみながら入浴するなど、寛いでゆったりと入浴している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活リズムを大切に、個々の体調に合わせて、休息を促したりの声かけを行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋をファイルにまとめて把握しやすい様になっている。服薬時は、きちんと名前を復唱、確認を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	得意なことを把握、お願いをして、出来ることをしていただける支援をしている。調理などでも経験を発気する場としている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩、ドライブに出掛けている。	天気の良い日には利用者の希望や体調に合わせてコースを選び、事業所周辺を散歩している。 休日には車での買い物のほか、年間計画を立てて花見や紅葉狩り、果物狩り、海岸の散歩、焼き物見学等遠方まで出かけている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	施設側で、個々の金銭を預かり金として保管、管理している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話はプライバシーを配慮して居室に持参し、使用して頂いている。年賀状・手紙は、相談し出すように支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	四季が感じられるよう、一緒に飾り付け等を行い、安全に暮らせるよう配慮し、生活の匂いや音が感じられるよう工夫している。	共用空間は利用者が居心地よく過ごせるよう音や光を調整している。 職員は四季が感じられるよう利用者と一緒に室内の飾り付けをしたり、廊下には利用者の作品や季節の花を飾り穏やかに居心地よく過ごせるように支援をしている。 ベランダにテーブルと椅子を備えたり、花の手入れをして利用者が日光浴をしながら寛いで過ごせるように工夫をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人で過ごしたり、お話できるスペースを提供している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居するにあたり、今まで使用していた身の回りの物を持参して頂けるよう、家族に協力を頂いている。	居室の入り口には温かい雰囲気の暖簾を掛けている。 利用者は居室にテレビや使い慣れた家具を持ち込んだり、家族等の写真や折り紙の作品を飾っているほか、編み物などの手芸品を置くなどして、居心地よく落ち着いて暮らせるように工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	部屋の分からなくなる方に対して、個人の居室の前に名前（表札）、縫いぐるみ等をつけたり、状況に合わせてその都度、本人が安心出来るような環境作りをしている。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが ○ 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○ 1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○ 1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○ 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム喜楽

作成日 平成23年9月13日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束の内容は理解しているが、話し合いやマニュアル作成はしていない。	全職員が身体拘束の内容とその弊害を正しく理解した上でケアを行っていく。	研修会を行う。マニュアルを作成する。家族等に説明し、書面で同意を得る。	12ヶ月
2	10	面会時に話を聞いたり、意見箱を設置しているが、苦情等の悪い意見はでてこない。	入居者様、家族等の本当の思いを少しでも知り、運営に活かす。	無記名でアンケートを実施する。	12ヶ月
3	4	運営推進会議の参加メンバーの出席が乏しく、開催時期も遅れがちになっている。	会議の参加メンバーを充実させ、あらゆる面から意見を出して頂き、ケアや関わりの情報を発信していく。	年間計画を立てる。会議のメンバーとして、地域住民、民生委員、警察官、消防官など各分野の知見者の方々に出席して頂く。	12ヶ月
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。